

5月30日(火)、公立志津川病院で火災や地震などを想定した自衛訓練を実施しました。医師や看護師が、3階から救護袋を使った避難訓練や、消火器による初期消火訓練を行いました。また、消防署員によるエレベーターに閉じ込められた人の救出訓練や、事務職員でも操作できるようにAED(自動体外式除細動器)を使った訓練も行いました。



海から離れた入谷中学校の生徒も津波避難訓練に参加。お年寄りなどの避難を手伝いました。



消火器の操作を体験(寄木)



海に接し地盤が低い汐見行政区では、一時避難場所に指定される町営新松原住宅や高野会館などに、一時避難したあと高台に避難する訓練を実施しました。

訓練に参加することで大切な命が守られます



市街地からの避難者が多い上の山都市緑地公園には、地震体験車、災害用伝言ダイヤル171体験、濃煙体験ハウスなどが設置されました。



建物の倒壊を想定した救出活動(十日町)



バケツリレーで消火(十日町)